

秩父市との合併に向けた 取り組みの状況をお知らせします

なぜ秩父市と合併をするのか

皆野町の人口は、平成20年9月1日現在11,326人ですが、10年後には1万人を割り込む見込みです。高齢化率も3年後には30%、10年後には35%超となる見込みで、これは町民の3人に1人が高齢者ということになります。

町の財政は、歳入の中心である地方交付税が、平成12年度の17億8,500万円をピークに、平成19年度は11億8,000万円と6億円を超える大幅な削減となつていきます。歳出では、高齢化に伴い福祉・医療・介護などの経費は今後も増加が見込まれ、財政状況は更に厳しくなります。

今後、町民の多様な行政需要に対応し、将来にわたり安定した行政サービスを提供し維持していくためには、行財政の効率化などにより財政基盤の強化を図る必要があります、それを実現する最も有効な方策が市町村合併であることから、皆野町は秩父市との合併を進めるものです。

合併申し込みの経緯

●6月10日

皆野町議会第2回定例会において持田欣教議員より「秩父市との合併推進を求める」決議が提案され、記名投票により賛成9票、反対2票で可決されました。

●6月19日

6月10日に可決された「秩父市との合併推進を求める」決議を受け、皆野町長と皆野町議会議長の連名で、秩父市長へ文書で合併の申し入れをしました。

「秩父市との合併推進を求める」決議

皆野町は、若年齢層の流出、出生児数の減少などによる人口の減少傾向にある。さらに生産年齢人口にも減少傾向が見られ、今後少子高齢化が急速に進み、当町においては限界集落の増加が思慮される。一方自主財源の減少など財政状況は将来に向かってますます厳しい状況が推測される。

この様な状況の中で、若者の定住促進を図るための雇用の場の確保、快適な暮らしを保障する生活環境整備など、行政サービスの、さらなる充実が求められている。こうしたことから、主権者である町民は、今なお、根強く合併志向が見られる。

又、平成18年4月執行の町長一般選挙において「秩父は一つ」「秩父市と合併」を大スローガン(公約)に掲げた石木戸氏を多くの町民が支持し、見事当選し早二年が経過したところである。

こうしたことから、皆野町議会は、石木戸町長の公約を尊重し、かつ、意向を踏まえ、町当局は「秩父市との合併」を目指し、秩父市並びに秩父市議会に対し、早期に合併協議を具体的に進めるべきである。

以上のとおり決議する。

平成20年6月10日
秩父郡皆野町議会

